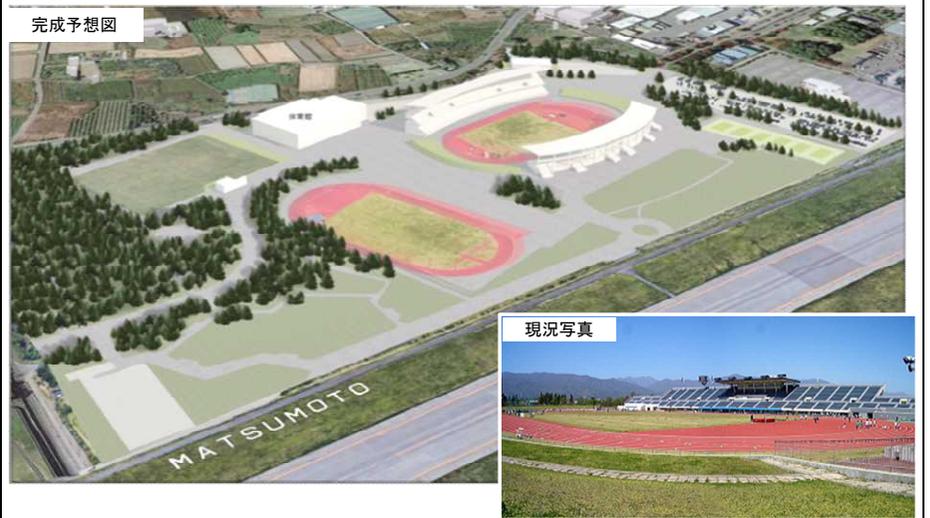
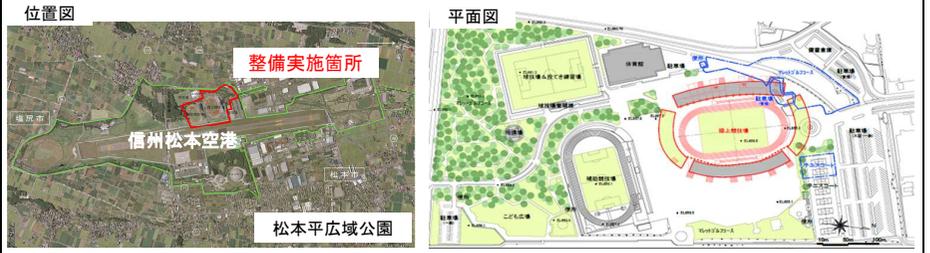


(様式1-2)新規評価シート

建設部 都市・まちづくり課

事業名	陸上競技場整備		路河川名等	松本平広域公園		
事業毎の通番	1	市町村名	松本市・塩尻市	箇所名(ふりがな)	陸上競技場(りくじょうきょうぎじょう)	
事業目的	松本平広域公園陸上競技場は、令和9年(2027年)開催予定の第82回国民体育大会および第27回全国障害者スポーツ大会において、開・閉会式および陸上競技の会場に予定されている。しかし、現競技場は、県内唯一の陸上競技連盟第1種公認競技場であるが、空港に隣接するという立地条件から、第1種公認基本仕様を十分に満たしておらず、また、建設から40年以上を経て老朽化が進むとともにバリアフリー対応に課題があることから、競技面や運営面で改善を求められている。陸上競技場の整備方針については検討の結果、建替案が最適と判断しており、施設を整備することで施設利用者の安全性・利便性を確保するとともに県内の陸上競技力の向上を図るものとする。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-4	2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興	事業実施の根拠法令等	都市公園法		
関連する事業、計画等	長野県都市公園長寿命化対策(防災・安全)、長野県都市公園の再整備によるにぎわい創出					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	陸上競技場年間施設利用者約78,000人(団体利用230件、個人利用375件)					
着手年度	2021年度(令和3年度)	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	2025年度(令和7年度)	費用対効果	1.3	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	陸上競技場建替 A=37,200m <sup>2</sup>			13,000,000	5,250,000 4,725,000 3,025,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	日本陸上競技連盟第1種公認競技場の認定(日本陸上競技選手権大会、国体等) バリアフリーに対応した施設 陸上競技力の促進				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 他県陸上競技者との交流の促進				
評価の視点	必要性	○施設稼働率 : 95.1% ○代替施設の有無 : 現況施設と同等の1種公認競技場が県内にない ○福祉・教育機関との連携 : 高齢者等のためや小中高等の大会の会場として各機関との連携が発揮できる施設			評価	A
	重要性	○国際的・国家的イベントの実施 : 国家的なイベント(2027国民体育大会) ○しあわせ信州創造プランの位置付け : しあわせ信州創造プラン3-4 ○長野広域受援計画の位置付け : 広域受援計画において広域防災拠点である			評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.33 ○事業期間 : 5年間 ○工法等の比較検討 : 工法等について比較検討あり			評価	B
	緊急性	○イベントまでの期限 : 6年~10年以内(2026年リハーサル大会予定) ○現況施設のバリアフリー対応 : バリアフリー化されていない ○現況施設の仕様 : 第1種公認基本仕様を一部満たしていない			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知(R01.11.22 知事会見、プレスリリース)			評価	A
		○地域(利用者)の取組 : 積極的な要望がある ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民参加や住民独自の活動等は見込まれない ○PDCA 事後・再評価からのフィードバック: 4-6				
建設部公共事業評価委員会の意見	第82回国民体育大会および第27回全国障害者スポーツ大会において、開・閉会式および陸上競技の会場に予定されていることから重要性が高い。また、現施設の老朽化やバリアフリー対応に課題があることから緊急性も高い。このため、事業着手が妥当と判断する。			採択状況	総合評価	
長野県公共事業評価委員会の意見	建設部公共事業評価委員会の意見が妥当と判断する。			○	A	
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	妥当	評価の決定	事業着手	



事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	昭和53年開催の「やまびこ国体」の競技会場でもある松本平広域公園陸上競技場は、県内唯一の陸上競技連盟第1種公認競技場である一方で、築後40年以上経過し老朽化が進んでいる。施設としてはバリアフリー対応に課題があり、空港に隣接するという立地条件などから、第1種公認基本仕様を十分に満足できておらず、競技面や運営面などから改善を求められている。また、令和9年(2027年)開催予定の第82回国民体育大会および第27回全国障害者スポーツ大会において陸上競技の会場に予定されている。		
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	県内唯一の陸上競技連盟第1種公認競技場である本競技場が県の陸上競技の運営や競技力向上に果たす役割は大きい。施設の老朽化やバリアフリーへの対応について課題があり、利用者や競技団体から強く要望されている。		
③事業説明等の経緯	陸上競技場の整備方針については、検討の結果、建替案が妥当と判断されており、R01.11.22に記者会見及びプレスリリース等により広く周知している。		
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県公園施設長寿命化計画においても現陸上競技場は全体的に劣化が進行し、更新・改築について緊急度の高い施設として位置付けられている。		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	周辺他施設配置等も含め陸上競技場の設計について検討を行い、園内の樹木の伐採や景観等に大きな変更がないよう配慮する。		
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により施設利用者の安全性・利便性が確保され、県内の陸上競技力の向上が期待される。		
⑦その他			
事後・再評価からのフィードバック	事業の進捗状況について情報発信し、2027国体への機運を高めていく。	事業代表地点の緯度経度	北緯 : N 36° 16' 39" 00 東経 : E 137° 92' 27" 20